

トレード振返り

2019年8月4日週 31st week

ユーロ円のトレード 8月1～6日

①のエントリー時チャート



①の決済時チャート



●前提

31stのチャート分析レポートに書いたように、MAが収束していたので注目していたところ、下方方向に拡散。

●エントリー①

エクspansionがはじまり。120円の大きな節目を割り込んできた。MACDはゼロライン下で2本揃って下向きRCIは3本揃って下向きと条件が揃ったのでエントリー。

●エントリー①決済とエントリー②

エクspansionが終了し長めの陽線が作られ始めている。MACDも大底から上昇開始してダイバージェンスが発生している。

そこで1時間足をチェックしたら上昇の形になっていたので、一旦底打ちした…と判断し、ショートポジションを決済。

その後ロングエントリー。

●エントリー②の決済

120円手前で失速し、下げてきていたので決済。

ユーロ円のトレード 8月1~6日



ドル円やポンド円などのクロス円も一旦底をつけて戻る動きになったが、私がなぜユーロ円をロングの対象に選んだか？

チャートを見ればわかるように、ドル円・ユーロ円・ポンド円の1時間足を比較してみると、21MAが上向きになっているのはユーロ円だけ。安値が切り上がっているのもユーロ円だけ。MACDがゼロラインより上にあるのもユーロ円だけ。RCI52が目視ではっきり上昇がわかるのもユーロ円だけ…と、3つの通貨ペアの中ではユーロ円のロングが**最もリスクが少ない**と判断したので、ユーロ円をロングの対象として選びました。

